



2-2.西地域

■西地域の概況

西地域は、旧鉄道（池北線）沿いの市街地、本町のシンボルである里見が丘公園、その外側に広がる森林地帯及び農地で構成されています。市街地内には足寄高校・中学校が立地するほか、里見が丘公園内には社会教育施設や北海道立足寄少年自然の家等の学習施設が立地するなど、教育・文化・スポーツゾーンとして豊かな自然と身近にふれあえる地域です。

■西地域の現状と課題

- 土砂災害の危険箇所が多く存在しており、自然と調和した良好な住環境を維持・保全するために、防災対策の推進が必要となっています。
- 避難路をはじめ地域内の生活道路の改修・整備の検討推進が求められます。
- 里見が丘公園の機能の充実・魅力アップによりさらなる利用を推進する必要があります。

■西地域の将来像

自然・教育・文化・スポーツを通じふれあい交流するまちづくりの推進

『自然とふれあい、豊かな心と健康を育むまち』



西地域の整備方針

【土地利用】

専用住宅地は、自然環境と調和した良好な住環境の維持・保全に努め、土砂災害危険個所周辺については防災対策の推進を図ります。

一般住宅地については、生活利便性の高い住宅地として住環境の維持・保全に努めます。

工業系関連業務地については、地域産業の振興とともに、周辺の住環境に配慮した土地利用を推進します。

用途地域外の郊外部は、市街地の拡大を抑制し、森林や農地の景観を保全します。

【交通】

避難路の確保や住民にとって重要な生活道路の交通機能の維持・向上を図ります。

【公園緑地等】

教育・文化・スポーツ拠点である里見が丘公園は、施設改修等により魅力アップを図るとともに、周辺の自然・観光資源と連携した滞在型交流拠点の形成を目指します。

山手通公園の再整備の推進をはじめ、住宅地内の公園は、身近なレクリエーション活動の場、災害時の避難場所としての機能確保のため、老朽化施設の改修等を行うなど、安心・安全に利用できる施設の維持管理に努めます。

佐野川緑地として散策路整備を推進し、町民の癒し・潤い空間の創出と、里見が丘公園をはじめ町内の公園とつながる緑のネットワーク形成を図ります。

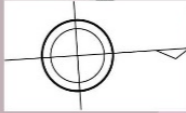
【防災・公共公益施設等】

土砂災害等の防災対策の推進を図るとともに、災害被害が少ないと想定される地区への居住誘導等を含め、将来の市街地のコンパクト化の検討を行います。

高台にある足寄中学校や総合体育館等の公共公益施設は、市街地全域に対応する避難所・避難場所としての機能の維持・向上を図ります。



西地域まちづくり方針図



凡例 ※当地域対象外項目を含む

- 【区域】**
 - 地域区分界
 - 用途地域
 - 都市計画区域
- 【土地利用】**
 - 専用住宅地
 - 一般住宅地
 - 中心商業地
 - 工業関連業務地
 - 農地
 - 森林
 - 河川
- 【交通】**
 - 都市計画道路（整備済み）
 - 同上（未整備）
 - 同上（見直し検討区間）
 - 主要幹線道路（都市計画道路区間を除く）
- 【公園・緑地】**
 - 都市計画公園
 - その他都市公園
 - 都市公園以外の公園・緑地
 - 緑のネットワーク[歩行動線]（既存）
 - 同上（計画）
- 【防災】**
 - 洪水浸水想定区域（計画規模）
※概ね100年に1度起こりうる大雨に伴う洪水による浸水想定区域
 - 土石流危険渓流
 - 急傾斜地崩壊危険箇所
 - 指定避難所
 - 同上（災害種類により指定）
 - 避難所等（障害者・要介護者等）
 - 指定緊急避難場所
 - 同上（災害種類により指定）
- 【公共施設等】**
 - 主な公共施設
 - 公営住宅

■自然景観（森林）の保全

土砂災害特別警戒区域

■公園施設の改修・整備の推進
■周辺の観光資源と連携した滞在型交流拠点の形成

■公園再整備の推進（山手通公園）

■田園景観（農地）の保全

■避難所機能の維持・向上

■自然環境と調和した良好な住環境の維持・向上（住宅地全体）
・土砂災害等の防災対策の推進
・災害被害が少ないと想定される地区への居住誘導の検討
・避難路等の生活道路の交通機能の維持・向上





2-3.南・栄町地域

■南・栄町地域の概況

南・栄町地域は、低層を含む専用住宅地と一般住宅地を中心に良好な住環境が形成されており、足寄小学校や足寄児童館等が立地するなど、児童教育の場としても重要な地域となっています。また、国道沿線は市街地の導入口として位置づけられています。

■南・栄町地域の現状と課題

- 土地区画整理事業により基盤整備が行われ、良好な住宅地が形成されています。
- 利別川の氾濫に備えた防災対策の推進や道路整備のあり方についての検討が必要となっています。
- 子育てしやすい安全で快適な居住環境・教育環境の維持・向上が求められています。
- 国道沿線は、市街地のゲートゾーンとしての景観形成が望まれています。

■南・栄町地域の将来像

子育てしやすい教育環境と安全な住環境を創出するまちづくりの推進

『子育てしやすい、住みよいまち』



■南・栄町地域の整備方針

【土地利用】

- 道路網の見直しを踏まえ、阿寒街道沿線の土地利用を周辺住宅地と調和するよう見直しを検討します。
- 水害等の防災対策推進により、住環境の維持・保全に努めます。

【交通】

- 都市内交通骨格であり災害避難路としても重要な校南通の整備に向けた検討を行います。
- 交通需要や自然災害等を考慮し、阿寒街道・中島通・校南通の都市計画道路の見直しを行うとともに、避難活動をはじめ住民生活にとって重要な生活道路の交通機能の維持・向上を図ります。
- 国道沿線については、花木の植栽等により良好な景観形成を図るとともに沿道サービスの充実を図ります。

【公園緑地等】

- 身近なレクリエーション活動の場、災害時の避難場所としての機能確保のため、老朽化施設の改修等を行うなど、安心・安全に利用できる施設の維持管理に努めます。
- 青雲河畔公園や小学校、公園、河川等を緑のネットワークとして位置付けます。

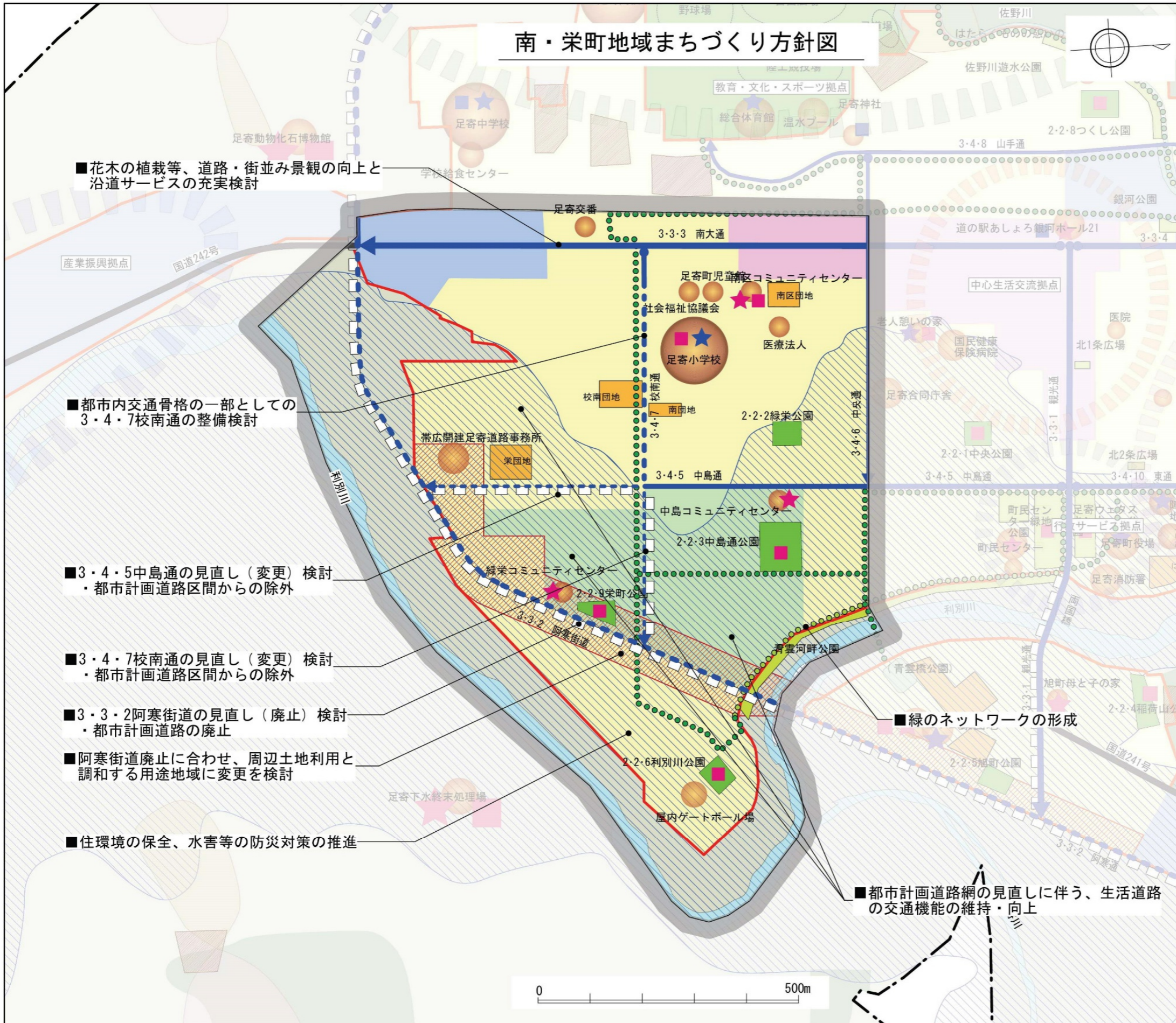
【防災・公共公益施設等】

- 水害等の防災対策の推進を図ります。
- 足寄小学校をはじめ公共公益施設等の避難所・避難場所としての機能の維持・向上を図ります。





南・栄町地域まちづくり方針図



■花木の植栽等、道路・街並み景観の向上と沿道サービスの充実検討

■都市内交通骨格の一部としての3・4・7校南通の整備検討

■3・4・5中島通の見直し（変更）検討
・都市計画道路区間からの除外

■3・4・7校南通の見直し（変更）検討
・都市計画道路区間からの除外

■3・3・2阿寒街道の見直し（廃止）検討
・都市計画道路の廃止

■阿寒街道廃止に合わせ、周辺土地利用と調和する用途地域に変更を検討

■住環境の保全、水害等の防災対策の推進

■都市計画道路網の見直しに伴う、生活道路の交通機能の維持・向上



凡 例

※当地域対象外項目を含む

- 【区域】**
 - 地域区分界
 - 用途地域
 - 都市計画区域
- 【土地利用】**
 - 専用住宅地
 - 一般住宅地
 - 中心商業地
 - 工業関連業務地
 - 農地
 - 森林
 - 河川
- 【交通】**
 - 都市計画道路（整備済み）
 - 同上（未整備）
 - 同上（見直し検討区間）
 - 主要幹線道路（都市計画道路区間を除く）
- 【公園・緑地】**
 - 都市計画公園
 - その他都市公園
 - 都市公園以外の公園・緑地
 - 緑のネットワーク[歩行動線]（既存）
 - 同上（計画）
- 【防災】**
 - 洪水浸水想定区域（計画規模）
※概ね100年に1度起こりうる大雨に伴う洪水による浸水想定区域
 - 土石流危険渓流
 - 急傾斜地崩壊危険箇所
 - 指定避難所
 - 同上（災害種類により指定）
 - 避難所等（障害者・要介護者等）
 - 指定緊急避難場所
 - 同上（災害種類により指定）
- 【公共施設等】**
 - 主な公共施設
 - 公営住宅

